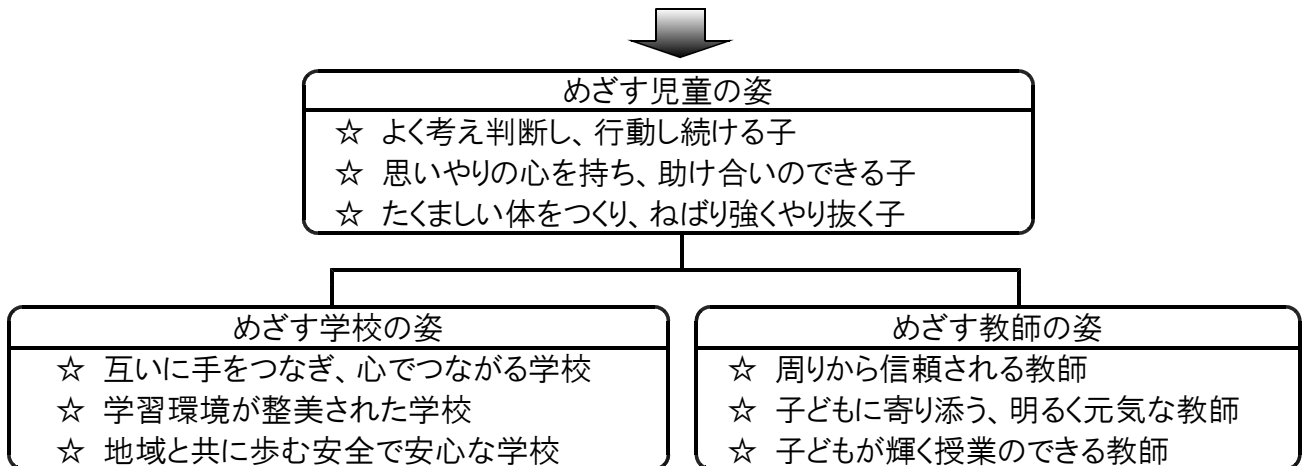


平成26年度 学校経営方針

1 学校教育目標

「ふるさとを愛し 自ら考え進んで行動する 強くたくましい高橋の子の育成」
～ 笑顔いっぱい 夢いっぱい 元気いっぱいの学校 ～



2 本年度の重点課題

(1) きめ細かな指導や児童中心の楽しく分かる授業の創造

- ・学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎・基本の徹底を図るとともに、自ら学び自ら考える力をつける。
- ・けやき学習の充実(単式、複式問わず)を一層図ることによって、児童の学びを確かなものにする。
- ・ひとり学習の内容を高め、児童から児童へ「つながり」のある学習展開を実践する。

(2) 健やかな体づくりをめざす教育活動の展開

- ・新体力テストの分析結果に基づく体づくりと運動遊びの実施によって、健やかな体をつくる。
- ・よさこいソーランや一輪車などの日常化を進め、体力の向上を図る。
- ・学校給食や家庭科学習等を活用した食育の推進によって、健康増進への意識を高める。

(3) 一人一人の教育的ニーズに合った特別支援教育の充実

- ・一人一人の教育的ニーズを把握し、関係機関とも連携しながら適切な教育的支援を行う。
- ・特別支援教育の研修を深め、職員一人一人の力量を高める。

(4) 人権教育・道徳教育の推進

- ・縦割り集団活動の取組を一層充実させ、仲よく助け合い、互いに高め合う心をはぐくむ。
- ・兵庫版道徳教育副読本も活用し、心に響く道徳の授業を展開する。
- ・「夢先生事業」を活用するなど、なりたい自分になるための頑張り抜く力を育成する。
- ・デイサービスセンターやけやきホールなどとの交流を深め、思いやりの心を醸成する。

(5) 校種間、学校間の連携の強化

- ・より一層たくましさを育むため、大きな集団での学習を経験させる小小のつながりを緊密化する。
- ・保幼小中の接続(つながり)を意識した活動を展開し、連携教育を展開する。

(6) 家庭や地域社会を巻きこんだ連携教育の充実

- ・地域の素材や人材の活用等を進め、ふるさと教育の充実を図り、より開かれた学校を創造する。
- ・「はばたきメッセージ」を活用して、基本的生活習慣の定着を図る。
- ・家庭における学習習慣などをさらに定着させるため、PTAとの協議を進めるとともに啓発活動を推進する。
- ・家庭や地域を巻き込んだ各種事業の推進によって、互いの絆を強める。

